

# 耕畜連携で

# 飼料用米生産・利用に

# 取り組みましょう

耕畜連携の飼料用米生産で、

- ① 地域の水田が守れ、
- ② 堆肥が有効活用でき、
- ③ 畜産農家も元気になります

皆さんの力で地域を活性化しませんか？

来年に向けて、**さあ、地域で話し合いを進めましょう。**

写真：

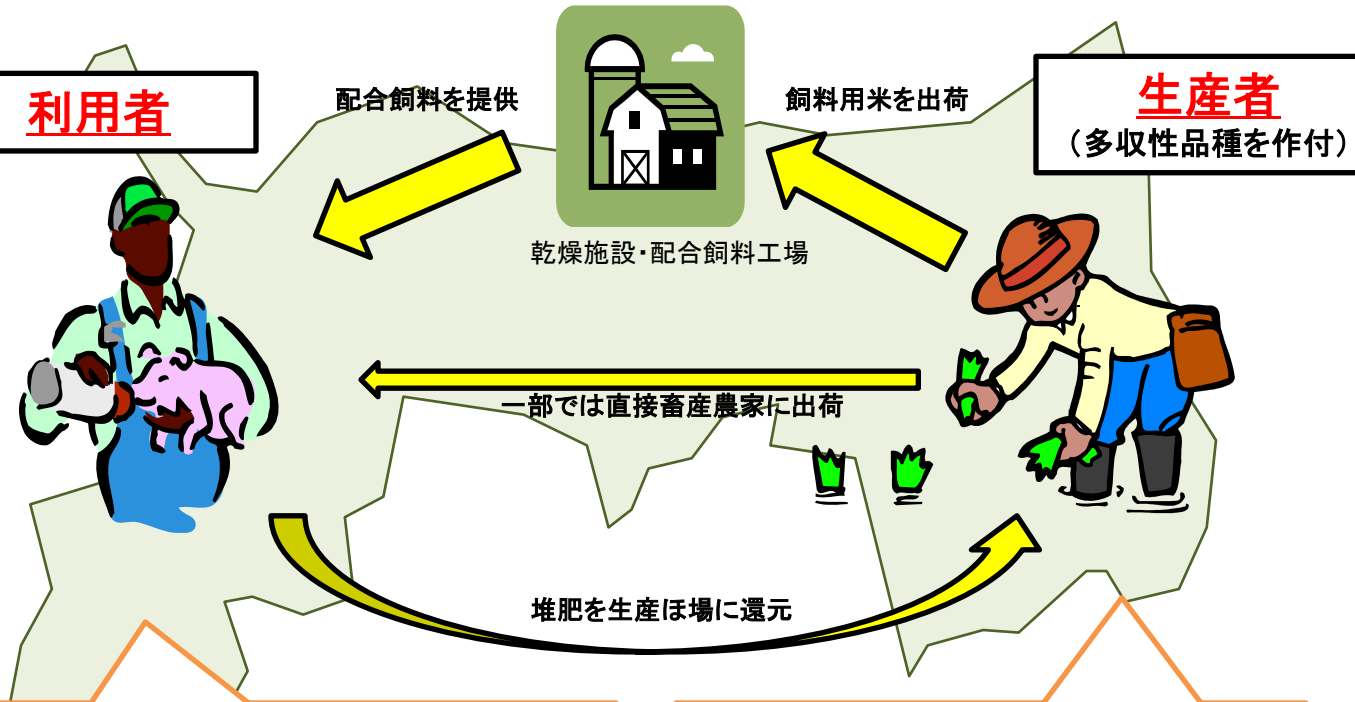
多収性品種「モミロマン」作付田。  
同水田では鶏糞堆肥3.6トン/10a  
を2月頃に施用し、籾収量1.2トン、  
玄米収量1トン/10aを確保。

(東京農業大学試験成績)

# こんなメリットがあります！

～地域の耕種農家と畜産農家が元気に、そして地域が活性化します～

## 耕畜連携飼料用米生産・利用のイメージ



### 畜産農家のメリット

- ・海外の飼料価格が高くなっても、**飼料用米を使っていれば安心！**
- ・国産飼料を利用することで、**消費者の信頼や理解**が得られる！
- ・**特徴ある畜産物販売**ができ、経営にプラス！
- ・**堆肥の有効活用**ができる！

### 稲作農家のメリット

- ・**作りやすい！水田を守れる！**
- ・水田の有効活用や高収量で**収穫の喜びを実感！**
- ・**8万円/10aの支援**で安定的に**主食用米並みの所得**が得られる！
- ・堆肥で**地力が向上！**
- ・低コスト栽培で**生産費が安い！**

### 飼料用米の取組地域から寄せられた声

- **消費者の理解**を得ることができた。
- 首都圏を中心に**畜産物の取引先が増加**した。
- **脂肪のしまりが良くなり、色が白く**なった。
- もみ給与で**鶏舎のにおいが軽減**され、**鶏の筋胃が大きく、腸が長くなった**(鶏が元気に！)。
- **水田の維持**ができた。
- 家畜の**嗜好性は良好**。
- 脂肪中のリノール酸が低下し、オレイン酸が増加した。**さっぱりとした味**になった。
- 消費者からは、**おいしいとの評価**が多く寄せられた。



消費者との交流会  
(飼料用米の収穫)

# さあ、早速、始めましょう！

1

まずは、**市町村等**に**取組の考えを伝え、地域で話し合**いましょう。

- (販売先、価格、面積、品種、流通・保管方法、食用米への混入対策等を決めましょう。)
- \* 近くに畜産農家がない、生産者がいない等、何かお困りの場合は、お気軽に近くの農政局又は農政事務所にご相談ください。
  - \* 多収性品種の種子の入手方法等については、都道府県にご相談ください。

2

品種やほ場に応じて、**適量の堆肥を散布**しましょう。

- \* 普及指導センター等による堆肥の成分分析、土壌分析の結果を基に判断しましょう。
- \* 多収性品種で高収量を実現するためには、多肥栽培が基本となります。多収性品種は、一般に主食用の1.6～2倍程度の窒素施用が可能です。

3

品種の特性に応じて、**低コスト生産**を行いましょ

- ① 堆肥の活用により、化学肥料の使用量を減らしましょう。
- ② 抵抗性品種の導入や発生予察により、農薬の使用量を減らしましょう。  
(出穂期以降に農薬を散布する場合は玄米で給与しましょう。)
- ③ できる限りほ場で立毛乾燥して刈り取りましょう。
- ④ 春の労働時間を大幅に削減できる直播栽培にも、普及指導センター等の指導を受けながらチャレンジしましょう。

4

**適切な方法で家畜に給与**しましょう。

- ① 牛・豚に給与する場合は、粉碎または圧ぺんして給与しましょう。
- ② 配合割合は、肥育豚15%、採卵鶏20%、肉用鶏50%、乳用牛10%、肥育牛3%程度なら、安心して使うことができます。  
また、これ以上の配合割合で給与している事例も数多く見られています。

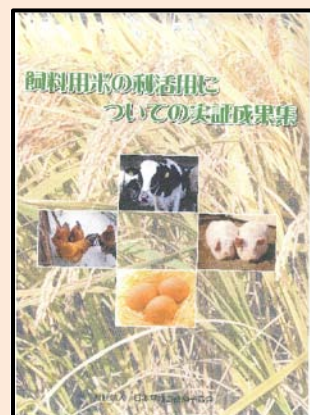
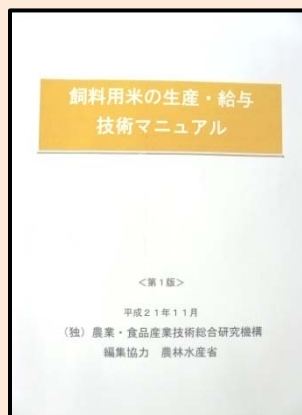
さらに必要な情報はこちらでご覧いただけます

①多収米の栽培方法

②多収性品種の特性

③栽培・給与マニュアル

④先駆的な取組事例



- 入手先: ① 農林水産省 農業生産支援課 tel:03-3597-0191  
② 農林水産省 研究開発官室(食料戦略) tel: 03-3502-2549  
[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/tasymai/t\\_manual/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/tasymai/t_manual/index.html) (①、②共通)  
③ 農林水産省 研究開発官室(食料戦略) tel:03-3502-2549  
<http://www.nilgs.affrc.go.jp/project/esapro/index.htm>  
④ 農林水産省 畜産振興課 tel:03-3502-5993 [http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/1\\_siryu/index.html](http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/1_siryu/index.html)

# 取組に対する支援措置（22年度概算決定）

## ○ 飼料用米の生産に対する支援

飼料用米の生産に対して、10アール当たり8万円を農業者に助成。  
（水田利活用自給力向上事業）

## ○ 飼料用米の乾燥・調製・保管等に対する支援

飼料用米の乾燥・調製・保管、粉碎等に要する共同利用機械・施設の導入を支援（補助率：1/2）。

（強い農業づくり交付金、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金）

## 問い合わせ先

機関名	電話番号
北海道農政事務所 計画課	011-642-5470
東北農政局 生産経営流通部 農産課	022-221-6179
畜産課	022-221-6214
食糧部 計画課	022-236-6661
関東農政局 生産経営流通部 農産課	048-740-0025
畜産課	048-740-0027
食糧部 計画課	048-740-0099
北陸農政局 生産経営流通部 農産課	076-232-4302
畜産課	076-232-4317
食糧部 計画課	076-241-3151
東海農政局 生産経営流通部 農産課	052-223-4622
畜産課	052-223-4625
食糧部 計画課	052-763-4453
近畿農政局 生産経営流通部 農産課	075-414-9020
畜産課	075-414-9022
食糧部 計画課	075-414-9731
中国・四国農政局 生産経営流通部 農産課	086-224-9411
畜産課	086-224-9412
食糧部 計画課	086-223-3135
九州農政局 生産経営流通部 農産課	096-353-7608
畜産課	096-353-7404
食糧部 計画課	098-378-3171
内閣府 沖縄総合事務局 農畜産振興課	098-866-1653

又は、お近くの市町村、普及指導センター等にご相談ください。